テトラパック社製紙容器の再処理工場

環境と地域に配慮し、古紙再生

協賛会社の日本テトラパック（ベルマーク番号17）の紙容器が再処理される工場を見学しました。回収箱にいっぱい詰まった紙容器は、静岡県富士市にあるテトラパック回収センターから市内にある「コアレックス信栄」の工場でトイレットペーパーやティッシュペーパーに生まれ変わります。

搬入された紙容疑は中身を確認、計量される

紙容器が500箱

登んだ青空に、白い雪を抱く富士山が目に鮮やかな2月中旬。新幹線の新富士駅からテトラパック回収センターに向かいました。センター内に約500箱もの回収箱が積み重なる様子は壮観です。1日に150箱分の紙容器が搬入され、スタッフ2人が向かい合って、手作業で箱から取り出して、秤で計量します。

繁忙期には1日200箱分をさばくそうです。作業の様子はカメラで撮影しているので、問い合わせがあっても根拠を示して答えることができます。アルミなし紙容器とアルミなし紙容器が混ざっていると、ここで分け直します。

計量が終わると、車で10分ほどの「コアレックス信栄」のリサイクル工場に搬入されます。

「コアレックス信栄」は「製紙のまち」静岡県富士宮市に1961年に設立しました。2015年10月に旧社名から「コアレックス信栄」に改称し、富士宮市から富士市に移転しました。4万9800平方㍍に屋内テニス場のような白と濃緑の社屋は、富士山や周囲の山並みの景観を損なわないための配慮だそうです。従業員は現在135人。

古紙100%の再生家庭紙メーカーです。

同社はじめグループ会社の直営工場が国内4カ所、ベトナムに1カ所あり、提携工場は7カ所に点在しています。全国に工場を点在させているのは、災害時にも安定供給できるための災害対応や流通の利便性、そして地産地消によって輸送時のCO₂を削減する意図があります。

防災面では市・地元地区と防災協定を結び、工場が災害時の避難所となります。大会議室横には、避難した地域住民ら約200人が3～4日分をしのげる水・食糧等が備蓄されています。

入口正面で出迎えてくれるロボット「ペッパー」君が「ご用件は何ですか？」

1日150㌧製造

国内で生産されるトイレットペーパーは年間1000万㌧。その約60%は古紙から作られていて、同社グループは47%のシェアを占めます。同社の強みは、ビニールによる防水加工やアルミ加工など通常は焼却処分されている、いわゆる「難再生古紙」も扱えることです。

「紙パックは原料としてはトップクラスなので、大切にさせて頂いています」と岡田忠太郎・総合企画室担当課長は言います。

搬入された紙容器は、まずパルパーという機械で溶かします。約8～12時間熟成させた後、ビニールや金属などの異物を何度もフィルター装置を通して除去し、出来上がったパルプから紙として巻き上げられます。牛乳パック6枚で1ロールのトイレットペーパー、130万ロール分です。4人家族が1年間に使うのは約200ロールですから、6500世帯の1年分を1日に作る計算になります。家庭、事業所、公共施設などに納入しています。

再処理されて生まれ変わったパルプは、巻き上げられて巨大な原反となります

見学　年1万人

総合企画室の後藤和也さんに案内されて、工場内を見学させてもらいました。各工程で驚きの連続です。大型トラックで搬入された古紙は溶解処理されて熟成され、金属類、ポリエチレンなどの合成樹脂やインクなどが除かれて古紙パルプとなって、紙に巻き上げられていきます。トイレットペーパーの大きさに整えられて梱包、包装されると、ベルトコンベアの終点ではパレタイズロボットというクレーンで持ち上げられて、パレット積みされて、コンベアで出荷用倉庫に運ばれます。

「搬入されるテトラパックの紙容器は年々増えています。ペーパーレス化で、材料の確保が難しいなか、大変ありがたいことです」と後藤さんは言います。

工場内は3交替制で24時間フル稼働です。地域貢献やリサイクル意識の浸透のため、地元の小、中学校や企業、自治体の見学を受け入れており、年間1万人の見学者が訪れるそうです。

ベルマーク運動で集められたテトラパック社の紙容器はこうして環境と地域社会に配慮されて、生まれ変わっています。

財団の新年度事業や予算の説明を聞く協賛会社、協力会社の皆さん

「標語キャンペーン」について講演するクレハの増田泰男リビング営業統括部長

協賛・協力会社懇談会に41社65人

財団　新年度方針や集票目標報告

ベルマーク運動の協賛会社・協力会社懇談会が3月9日、東京都内のホテルでありました。財団事務局が新年度の被災校、へき地校支援の方針や4億5千万点の目標集票点数を報告しました。

クレハの増田泰男・リビング営業統括部長は「お客さまの生の声が聞くことができた」と、1万1255点もの応募があった「標語キャンペーン」について目的や反響を講演しました。

懇談会には、協賛会社のうち31社から49人、協力会社10社から16人が出席しました。財団の銭谷眞美理事長は、2016年度もベルマーク活動から生まれる算金や寄付によって東北被災校をはじめへき地校や特別支援学校、海外にまで多くの支援ができたことに、改めて感謝の言葉を述べました。

「標語キャンペーン」はクレラップの発売（1960年7月）と財団設立55周年を記念して、協賛会社と財団が共同で取り組む初めての企画でした。増田部長は「驚くほどの反響がありました。作品の重複の確認など、担当部は大変だったと思います。規定によって残念ながら失格とした応募が多くて申し訳なかったのですが、テレビに広告を出すよりも直接、ベルマークつき商品であることを広く知ってもらえて、ありがたかった」などと述べ、手ごたえを話しました。

財団の今村修事務局長は、へき地校や被災校への支援、福島県と熊本県水俣市の中学生交流事業の助成、海外支援について報告し、財団運営のスリム化や協賛・協力会社との一層の関係強化を図ることを約束しました。

ベルマーク預金の銀行口座の一本化や新年度予算については小林敏夫経理部長が説明しました。

会場を移して開かれた懇親会は、軽食を取りながら和やかな雰囲気で進み、業種を越えた意見が活発に交わされました。

財団からの「お知らせ」

生茶のうまみがアップ

協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号54）は、昨年3月にリニューアルした「キリン生茶」を、3月から順次ブラッシュアップしました。合わせて300m l ペットボトルを新発売します。ベルマークも、従来の背景色より薄くなり、はっきりと見えるようになりました。

今回のブラッシュアップは、「お茶のいいところを“まるごと”ひきだした緑茶」として評価の高い味覚の基本設計は変えずに、微紛砕した“かぶせ茶”をさらに丁寧に仕上げることで、うまみがアップし、よりコクのある味わいにしました。

詳しい商品情報はこちら(http://www.afpbb.com/articles/-/3114658)から。

◇マーク点数（変更はありません）

キリン　生茶　525m l　140円
（希望小売価格・税抜）　1点
430m l　127円
（希望小売価格・税抜）　1点
555m l　140円
（希望小売価格・税抜）　1点
2L　330円
（希望小売価格・税抜）　3点
300m l　115円
（希望小売価格・税抜）　1点
（新発売）

※430m l と555m l は自販機用商品

携帯用浄水器を新発表

協賛会社のBRITA Japan（ベルマーク番号66）が浄水機能付きボトル「fill&go」の発売を記念して、50万円分の旅行券などが当たるキャンペーンを実施中です。

「fill&go」は2月に発売された、外出先にも持ち歩きできる携帯用浄水器です。新開発の超軽量「マイクロディスクカートリッジ」をフタ部分につけたことで、飲む瞬間にろ過したての美味しいお水が飲める仕組みです。通勤や通学、スポーツなど、幅広く利用できます。

「おいしいお水を飲みたい！」と思うシーンの写真を『＃どこでもブリタ』を付けてインスタグラムに投稿した方の中から抽選で1人に50万円分の旅行券をプレゼントします。さらに、BRITAの対象製品を買って、3月から4月に応募した方の中から抽選でJTB旅行券4万円分またはTOHOシネマギフトカード4万円分を、それぞれ2人にプレゼントします。5月から6月の応募者には、抽選で家族4人がゆったりと寝ることができるテント「タフドーム3025（グリーン）」か、エレガントなデザインのエスプレッソマシーン「アイコナコレクションエスプレッソカプチーノメーカーEC03108」を、それぞれ3人にプレゼントします。

詳細は、BRITAのホームページ（http://d.brita.co.jp/fillgocp/）で。

イトーヨーカ堂　東北支援800万点に

東日本大震災の翌年、2012年から「東北からはじめよう」プロジェクトとして被災地支援を続けているイトーヨーカ堂（本社・東京）に対し、ベルマーク教育助成財団は3月4日、感謝状を贈りました。東北産品の販売や踊りの披露があった東京都江東区の大型商業施設で「アリオ北砂」のイベントで贈呈しました。

ヨーカ堂などセブン&アイグループは、店舗でベルマークを集め、財団を通じて東北被災地の学校にマークを寄贈しています。その点数が総計約800万点に達した記念です。

ベルマークを通じた支援は、「生茶」などにマークをつけているキリンビバレッジが提案して始まりました。キリンビバレッジの担当者は「2020年までに1千万点集めたい」と話しています。

感謝状を竹田利明イトーヨーカ堂副社長（左）に贈呈する中島泰・ベルマーク財団常務理事

ユニーは6年連続、65万点

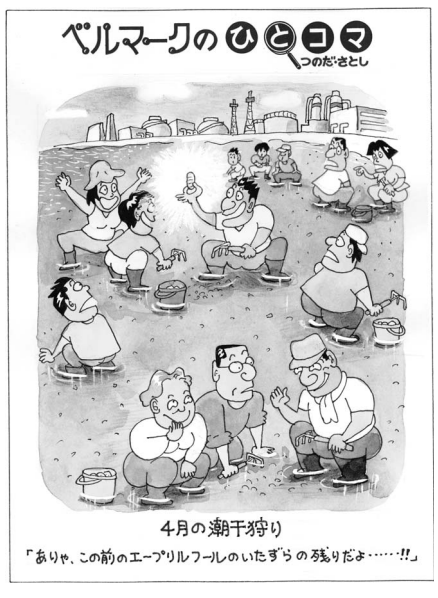
全216店とグループ10社で収集

中部圏を中心にスーパーを展開するユニー株式会社（佐古則男社長、本社・愛知県稲沢市）が東日本大震災の被災校支援のために集めたベルマーク約65万点を寄贈しました。今年で6回目となり、寄贈合計は665万点になりました。

アピタとピアゴ全216店とグループ10社の従業員が協力しました。1月7日～2月14日を収集期間として、店頭やサービスカウンター、事務所にも回収箱を置きました。

店頭に張った「ベルマークを集めて東北の子どもたちを応援しよう」と書かれたポスターには、ベルマークがどのような仕組みで被災地の支援にあてられるかがイラスト付きで説明してありました。

協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号54）中部圏地区本部が毎年、ポスターや回収箱を提供しています。



大台達成校

1月、数字は累計点数

城山中	静岡県磐田市	6,061,485
山手小	兵庫県明石市	6,021,303
東大成小	さいたま市北区	4,004,357
稔台小	千葉県松戸市	4,007,587
長浜北小	滋賀県長浜市	4,036,725
翠町小	広島市南区	4,024,866
久米小	山口県周南市	4,013,277
笠原小	水戸市	3,001,013
田彦小	茨城県ひたちなか市	3,048,837
精道小	兵庫県芦屋市	3,026,441
清水小	愛媛県松山市	3,070,512
栄小	埼玉県新座市	2,035,066
六条小	福井市	2,002,107
守山幼稚園	名古屋市守山区	2,017,517
菩提寺小	滋賀県湖南市	2,002,639
野田小	堺市東区	2,055,260
尼崎養護学校	兵庫県西宮市	2,264,502
河合第一小	奈良県河合町	2,013,541
原釜幼稚園	福島県相馬市	1,018,773
千葉朝鮮初中級学校	千葉市花見川区	1,010,768
小笠原小中	東京都小笠原村	1,005,172
和坂幼稚園	兵庫県明石市	1,009,563
駅家西小	広島県福山市	1,002,764

2月

所沢中	埼玉県所沢市	8,000,496
成田小	千葉県成田市	8,020,300
大久保東小	さいたま市桜区	6,012,374
吉田小	長野市	6,012,050
清水岡小	静岡市清水区	6,000,962
旭南小	秋田市	5,009,541
代田小	東京都世田谷区	5,003,376
交野小	大阪府交野市	5,003,033
敷戸小	大分市	5,000,207
南山田小	大阪府吹田市	4,045,336
広安小	熊本県益城町	4,142,133
塩尻西小	長野県塩尻市	3,005,525
林小	兵庫県明石市	3,016,988
真壁小	茨城県桜川市	2,039,964
源池小	長野県松本市	2,017,118
陶原小	愛知県瀬戸市	2,015,970
神崎小	広島市中区	2,007,391
勝間小	山口県周南市	2,041,480
戸畑中央小	北九州市戸畑区	2,006,315
中里小	長崎県佐世保市	2,019,317
坂下南小	福島県会津坂下町	1,002,794
松長小	福島県会津若松市	1,009,572
寺尾小	埼玉県川越市	1,000,992
北条幼稚園	千葉県館山市	1,013,663
大谷田小	東京都足立区	1,021,809
中央林間小	神奈川県大和市	1,010,187
明正中学校	三重県桑名市	1,000,377
小槌幼稚園	兵庫県芦屋市	1,010,931
余部小	兵庫県姫路市	1,012,599
明新小	山口県周防大島町	1,002,683

3月

大砂土小	さいたま市北区	8,094,598
大宮小	さいたま市大宮区	7,014,146
葛飾小	千葉県船橋市	6,006,973
森山町小	金沢市	6,040,779
潮田小	横浜市鶴見区	5,012,125
野川小	川崎市宮前区	5,056,062
桐原小	滋賀県近江八幡市	5,016,862
清進小	埼玉県所沢市	4,008,274
東谷小	兵庫県川西市	4,017,075
北諫早小	長崎県諫早市	4,006,993
富士見台小	神奈川県藤沢市	3,034,695
城山小	長野市	3,006,953
稲荷小	京都市伏見区	3,008,234
久喜東小	埼玉県久喜市	2,007,048
向山小	千葉県習志野市	2,013,727
八千崎第二小	千葉県松戸市	2,004,473
生目小	宮崎市	2,008,823
原町みなみ幼稚園	福島県南相馬市	1,002,141
牛島小	埼玉県春日部市	1,020,596
菊川小	東京都墨田区	1,004,868
厚木田園幼稚園	神奈川県厚木市	1,001,735
城北中	新潟県上越市	1,022,508
芙蓉保育園	長野県上田市	1,026,107
松枝小	岐阜県笠松町	1,007,443
長尾小	兵庫県宝塚市	1,015,650
上北条小	鳥取県倉吉市	1,014,081
引野小	広島県福山市	1,013,744
原田小	福岡県宇美町	1,033,965
伊良波小（幼稚園）	沖縄県豊見城市	1,007,534

第44回 ショウワノート ベルマークキャンペーン

ショウワのベルマークを集めましょう。

ショウワノートでは、ベルマーク教育助成財団協賛のもとに、第44回ベルマークキャンペーンを実施いたします。
当社製品についているベルマークを、たくさん集めてくださった学校を全国と地方ブロックに分け、表彰いたします。

応募規定

●期間
2017年1月1日より2017年12月31日までにベルマーク教育助成財団検収分のショウワノート・ベルマークの集計を行います。

●集計方法
全国を8ブロックに分け、集計を行います。
①北海道・青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島
②茨城・群馬・栃木・埼玉・千葉・神奈川
③東京
④新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・静岡
⑤愛知・三重・岐阜・奈良・滋賀・和歌山
⑥京都・大阪・兵庫
⑦鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
⑧福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・佐賀・鹿児島・沖縄

●表彰
全国1位、各ブロックの1位から3位（学校単位の集票総数）までの小学校に対し、賞状並びに記念品を贈呈いたします。また、小学校以外の学校や団体で、団体単位の集票総数が全国1位の団体に、賞状並びに記念品を贈呈いたします。
※3,000点以上対象。

●記念品
全国1位（小学校の部・小学校以外の部）
・表彰状
・記念品（百科事典等 教材用書籍またはビデオ教材）
・弊社学習帳
ブロック1位～3位（小学校の部）
・表彰状
・記念品（百科事典等 教材用書籍またはビデオ教材）
・弊社学習帳
3,000点以上集票の小学校
・感謝状
・弊社学習帳
※記念品の書籍等、学習帳の科目は、弊社にて選定させていただきます。

●発表
ベルマーク新聞にて発表いたします。

ジャポニカ学習帳

百科事典などの教材用書籍やビデオ教材、その他順位に応じて多数の賞品を取り揃えております。

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK
©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku ©Pokémon

■主催／ショウワノート株式会社　■協賛／ベルマーク教育助成財団　都合により、商品を変更させていただく場合があります。

皆様の力で助け合いの輪が広がっています。

第43回 ベルマークキャンペーン入賞校

■小学校の部

ブロック	順位	学校名		所在地	集票数
全国	1位	佐原	(小)	千葉県香取市	14,858
(1) 北海道 東北	1位	宮城教育大学附属	(小)	宮城県仙台市	5,351
	2位	船越	(小)	岩手県下閉伊郡	4,470
	3位	平第五	(小)	福島県いわき市	4,391
(2) 関東	1位	辰巳台東	(小)	千葉県市原市	12,022
	2位	谷津	(小)	千葉県習志野市	11,468
	3位	春岡	(小)	埼玉県さいたま市	8,502
(3) 東京	1位	東京学芸大附属大泉	(小)	東京都練馬区	10,278
	2位	田園調布雙葉	(小)	東京都世田谷区	8,156
	3位	大泉東	(小)	東京都練馬区	7,419
(4) 北陸 甲信越	1位	中央	(小)	富山県黒部市	8,493
	2位	戸出東部	(小)	富山県高岡市	8,483
	3位	福岡	(小)	富山県高岡市	7,497
(5) 東海	1位	西山	(小)	愛知県名古屋市	4,640
	2位	該当なし			
	3位	該当なし			
(6) 近畿	1位	常盤	(小)	大阪府大阪市	3,285
	2位	該当なし			
	3位	該当なし			
(7) 中国 四国	1位	高須	(小)	広島県尾道市	13,102
	2位	大宮	(小)	高知県香美市	6,972
	3位	茶屋町	(小)	岡山県倉敷市	6,059
(8) 九州 沖縄	1位	小禄	(小)	沖縄県那覇市	13,434
	2位	美和台	(小)	福岡県福岡市	12,143
	3位	明治学園	(小)	福岡県北九州市	7,631

■小学校以外の部

全国	1位	勝沼授産園	山梨県甲州市	6,613

ショウワノート